

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	23	学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校	校 長 名	山崎かおる
------	----	-------	--------------	-------	-------

校訓『元気 笑顔 夢の実現』

1 目指す学校像

(1) 教育目標 『いきいき学び 地域と共に よりよく生きる人を育てる』

いきいき学ぶ＝心身ともに健康で、楽しく主体的に学ぶこと

地域と共に ＝学校生活（学習面・生活面が充実し、人・もの・ことに関わること

よりよく生きる人＝日々の学びを積み重ね、卒業後に自立した豊かな生活を送れるようにすること

(2) 目標具現化の柱

ア【専門性】一人一人の教育的ニーズに応じ、確かな成長・発達を支える専門性の充実

イ【安全・安心】人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制と教育の充実

ウ【連携】家庭や地域、関係機関等から信頼され共に歩む協働体制の充実

エ【チーム】「認め合い、支え合い」に基づいたチームとしてやりがいを持てる学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）＊「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 専 門 性	(ア)教育的ニーズの的確な 実態把握と目標の達成	・自立活動の6区分等から実態把握し、個別の教育支援計画の根拠ある目標設定を反映させた個別の指導計画を作成する。	・「個別の指導計画の目標を適切な指導により達成できた」と答える教職員 100%	自立活動課 教務情報課 研修課 各学部
	(イ)つながりのある支援と 指導の充実	・12年間の系統性と教科横断的な視点を押さえた年間指導計画の作成と評価 ・カリキュラムマネジメント委員会を推進する。（年間3回） ・T・T間の話し合いや授業アドバイザー、外部助言者からの助言を活かしたP D C Aサイクルを用いた日々の授業改善。 ・対話と深い学びのためのI C T活用指導の実施	・「12年間の系統性や学習指導要領等の内容に沿って見直した年間指導計画と日々の授業改善ができた。」と答える教職員 100% ・「主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善できた」と答える教職員 100% ・「児童生徒がI C T機器を活用した」と答える教職員 100%	カリキュラム・マネジメント委員会 体育課 研修課 図書表現課 各学部
イ 安 全 ・ 安 心	(ア)人権に配慮した言動や 行動の徹底	・人権に関する全体研修（3回） ・月ごとの人権目標や振り返りシートを活用し、人権感覚の向上を図る。	・「教職員一人一人が人権に配慮した丁寧な態度や言葉遣いができた」と答える教職員 100%	生徒指導課 各学部 いじめ対策委員会
	(イ)命を守る、体制の整備と 緊急対応の実践力強化。	・ヒヤリハットの迅速な共有と迅速な改善策を策定する。 ・危機管理マニュアルの理解推進と各訓練後の見直しを実施し、情報の共有を図る。 ・安全・安心な教室環境の整備。	・「ヒヤリハット等の情報を環境整備や再発防止に活用した」と答える教職員 100% ・マニュアルを教職員が理解し、「有事の際の動きが分かって行動できる」と答える教職員 100%	保健給食課 体育課 教務情報課 防災教育課 生徒指導課 各学部
ウ 連 携	(ア)よりよく生きるための 関係機関等との協働強化。	・個別の教育支援計画やキャリアパスポート等、保護者や関係機関からの相談や要望に対して丁寧に対応し、それぞれの役割を明確にして、連携する。	・ニーズに応じた関係者会議や学習会を設定したり、情報共有したりして、「必要に応じて保護者や関係機関と連携して取り組んだ」と答える教職員 90%	自立活動課 地域連携課 キャリア教育課 各学部
	(イ)地域資源(人・もの・こと)への深い理解とそれを 活かした実践や発信	・チーム学校の機能を活用し、在籍児童生徒の支援体制を充実させる。	・校内の専門家(看護師、S C)や校外の専門家(P T、O T、学校医、医ケア指導医相談員等)の活用が「有効であった」と答える教員の評価 90%	地域連携課 キャリア教育課 保健給食課 自立活動課
		・地域資源(人・もの・こと)を活用する「ふれあい活動」を年間指導計画に位置付けて実践し、成果と課題を明確にする。 ・地域の施設での作品展や作業製品展示・販売会を開催する。	・「ふれあい活動を実施し、地域資源(人・もの・こと)を利用できた」と答える教職員 100% ・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を公開して、「児童生徒の理解啓発につながった」と答える教職員・外部評価 100%	地域連携課 カリキュラム・マネジメント委員会 図書表現課 各学部

様式第 1 号

	(ア)働きがいのある職場の 充実	・教職員一人一人が「認め合い、支え合い」の精神で、心理的安全性を担保し合い、環境調整を行う。 ・アンガーマネジメントの研修を実施し、風通しがよく働きがいのある職場づくりを推進する。 ・夢の実現委員会を開催する。(年間 2 回)	・「教職員が協働することで、より良い成果を目指して、業務に関する課題を解決できた」と答える教職員 100%	夢の実現委員会 職員安全衛生委員会 各学部
--	---------------------	---	---	-----------------------------

(記入上の留意点)

1 (1) (2) の欄は、抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部にわかりやすいよう工夫して記載すること。